

奈井江学園父母の会 会報 9 号

会長挨拶

新しい年を迎えて

あけましておめでとうございます。新しい年を迎えて、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

昨年の父母の会の諸行事も会の皆様の両手に余るご協力をいただき、すべて無事に終了することができ感謝を申し上げます。さらに、役員及び職員の方々には献身的なご協力をいただき重ねてお礼を申し上げます。

さて、今日、私達の社会システムは大きく変容し、人生80年という急速な長寿社会が現実のものとして迎えています。この様に高齢化が

会長 北島惇二

進む中私達も利用者も年金や医療介護の点で適切な対応が求められています。新年を迎えて健やかに生きるために会員の親睦を深めアンテナを高くして活動しましょう。現在父母の会で取り組んでいる障害年金等管理委員会の設立準備も環境条件が整い新年を迎えることができましたのでご報告申し上げます。今後とも一層のご協力を申し上げます。

最後に今年も会の親睦と健全な運営を目指して皆さんの英知を集め活動しましょう。

学園ニュース



町主催のふれあいフェスティバルは、今年で企画が変わって2年目の障害者と町民の交流会です。軽食をつまみながら、ダンスを踊ったり、バンド演奏を聴いたり、楽しいひと時を過ごしました。

11月18日

父母参観日について

奈井江学園 園長 土岐昌弘

今年も新たな一年が始まり、「明けましておめでとう」の声があちらこちらで聞こえて来ますが、昨年もしろいろな事が有りました。

父母の会の行事も沢山の方々の参加で進んで来ています。これから雪祭りがあり、又、年金管理委員会の新組織も発足して進んで来ています。こんな中、これから父母の方々と是非協力して進まなければならないことが有ります。昨年も父母参観日をクラス事で行いました。

- 9月12日 織物クラス
- 9月19日 工芸クラス
- 9月25日 陶芸クラス
- 10月22日 農耕クラス
- 11月4日 実習クラス
- 11月14日 養鶏クラス

前述の日程で行いましたが、施設が出来て21年も経過しますと当初から入所していた人は21才年をとる事になり又、その両親の方々も同じく年を取ります。21年も過ぎますと若いとは違い身体的にも、精神的にも、気力がうすれ、病気になったり、事故に巻き込まれたり自分でも予測のつかない事が起きてきます。

この事は施設利用者の方にとっても同じ事が言えます。やはり21年の年月は重い物が有り、

いろいろ身体的に変化が出て来ています。遺伝的な変化、成人病、今までもっていた病気の悪化とさまざまですが、これらの変化に対応する為には、どうしてもお父さん、お母さん方の力が必要になります。時には、病院との関わりの中で生育歴も必要な事も有ります。

この父母参観日については、この様な事の相談を始め、施設の中での生活における新しい変化を連絡したりしております。又、施設利用者の方に対して、保護者と支援者の中で見方が異なると、決して良い結果は出て来ません。現在、施設利用者一人一人に対してケアプランを作成して、父母の方と一緒に検討して本人に対しての共通理解をはかっています。又、今年も父母参観日が設定されますが、本人の意思を尊重し、家庭のニーズに盛り込まれたケアプランにそって支援して行く様に考えていますので、是非参加をして、意見を言ってくだされれば幸いです。

父母参観日の中での話し合いは、非常に大切だと思っておりますし、これからより必要な事になって行くと考えています。これからの、本人の変化に素早く対応して行きますのでよろしくお願い致します。

漬物行事に参加して

会 計 丸山ゆう子

雪のちらつく寒い日でしたが、皆さんとてもテキパキと仕事をこなし、無事に午前中で終わることができました。又、朝鮮漬物は3種類に分けて漬けたので、どの味が好きとか、おいしかったとかの感想を聞いてみたいです。

話はかわりますが、学園の漬物には思い出があります。悠二がまだ養護学校の小学部のときです。親の会の施設見学で奈井江学園に来ました。その時、嶺岸(前)園長に漬物をご馳走になりました。それはニシン漬けでとてもおいしかったのと、父母の方々が漬けたものだとか

され、とても感激したのを覚えています。その時から漬物をつけているお母さん達と、今、自分も一緒に漬けていると言うことがとても不思議な感じがして、毎年そのことが思い出されます。そして、その時から悠二は奈井江学園に通所させようと、かってに決めていました。

どなたか今度機会がありましたら、どうして漬物をつけるようになったか、その経緯を教えてください。父母の会報に出してくださればうれしいです。

私は一昨年より家族介護を語る会という痴呆介護をしている家族の集いに友人から誘われ月に1回参加しています。2時間ぐらいの話の中で家族が抱える悩みを語り、アドバイスをいただいたり家族にとっても有意義な時間です。痴呆の家族を持たない私にもわかってあげられる部分がたくさんあります。心を開いて話し合

沢田千恵子
える場があることで家族の方は喜んで参加されています。

学園は父母の会の諸行事や又クラス別の参観日に指導員の方々と話せる機会はありますが、お母さん達とあう機会がもっとあると、いろいろな面で心のつながりが出るのでないかと思

正月の出来事

新年早々、札幌にある福祉施設の不幸事がニュースになった。利用者の年金を寄付という形で施設の運営に充てていたと言うことである。寄付を強制する発端は施設の建設とも報じられていた。利用者の年金は施設職員の給料と同じく、誰にも犯すことの出来ない大切な一人一人の財産のはずである。

大原睦生
私どもの奈井江学園について考えると、新しくなった建物建設に際し、適切な方法で尽力された後援会の関係各位に心から感謝の意を表す機会ではないかと感じた。また、利用者年金管理に関しては、適正管理を目指す年金管理委員会が設置される。数年前から年金管理に取り組まれた各位の慧眼を敬服する正月だった。

各部から

厚生部 13年度行事について

厚生部 宮本三代子

花壇作り・大根植え・漬物漬け行事は、無事に終了いたしました。御父母兄姉の皆様、ご協力有難うございました。

私も厚生部委員を2年務め、名前だけでしたが、任期を終わりに近づきほっとしています。有難うございました。

文化部

文化部 今野良雄

今年は、21世紀を迎える華々しさの一方、世の中の情勢は暗い話題が多かった落差の激しい分ショックでした。人と人との絆を一番大切にしたい。

学園の広場では奈井江町内外からの大勢の人の来場で、日ごろの地域での交流が楽しいひと時を過ごさせて頂きました。大変有難うございます。

でも学園では、第22回学園雪祭りに始まり、

編集後記

同時多発テロに始まったアフガニスタンの混乱、破壊された家々や砂漠のテントの映像を見て、アフガニスタンの知的障害者はどのように生きているのか暗い気持ちになりました。戦乱の社会で最も厳しい犠牲を強いられるのは何時も最も弱いものです。障害者に、もっと大切なものは平和であると考えさせられました。障害を持った人が幸せに生きられる社会は、どんな人にも幸せな社会なのですね。

年末に行われた餅つき行事ではカラシ入りのあん餅で、涙が出るほど盛り上がりました。これからも楽しい行事を目指して、新しいいろいろな企画を期待しております。